

平成 26 年度第 2 回岐阜県地方独立行政法人評価委員会(県立病院関係)

－ 議 事 要 旨 －

1 日 時 平成 26 年 8 月 28 日(木) 14:00～16:00

2 場 所 岐阜県庁 4 階 特別会議室

3 出席者

[委 員] 清島委員長、石原委員、富田委員

[専門委員] 金山専門委員

[法 人] (地方独立行政法人岐阜県総合医療センター) 滝谷理事長、富田副理事長兼事務局長
(地方独立行政法人岐阜県立多治見病院) 原田理事長、松葉副理事長兼事務局長
(地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院) 山森理事長、藤枝理事兼事務局長

[設立団体] (岐阜県) 石原健康福祉部長、久保田健康福祉部次長、兼山地域医療推進課長、
木村県立病院・看護大学法人係長 ほか

議事概要 県立病院関係 [資料①～⑬]

[議題4：資料①～④]

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の平成25年度財務諸表について

資料①～資料④に従い事務局及び法人から説明

質疑応答

【石原委員】

下呂温泉病院の入院に係る診療単価が前年度に比べ減少した理由は。

【下呂 山森理事長】

在院日数が長くなっている。手術件数の減少、さらには診療報酬上の加算が人員配置等の関係で取得できないことが主な要因と考える。

【清島委員長】

他にご意見・ご質問がなければ、3病院の財務諸表について、当委員会として意見書(案)のとおり知事に提出してよいか。

(異議なしの声)

【清島委員長】

異議なしということで、意見書(案)のとおり知事に提出することを決定した。

[議題5：資料⑤～⑦]

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の平成25年度業務実績に関する評価について

<評価に関する論点の整理・項目別評価原案について>

資料⑤～資料⑥に従い事務局から説明

質疑応答

【清島委員長】

総合医療センターについて、意見や質問はあるか。また法人からも何か意見はあるか。

(発言なし)

【清島委員長】

多治見病院について、意見や質問はあるか。また法人からも何か意見はあるか。

(発言なし)

【清島委員長】

下呂温泉病院について、意見や質問はあるか。また法人からも何か意見はあるか。

(発言なし)

【清島委員長】

他にご意見・ご質問がなければ、項目別評価原案のとおり決定してよいか。

(異議なしの声)

【清島委員長】

異議なしということで、原案のとおり決定した。

<評価結果原案について>

資料⑦に従い事務局から説明

質疑応答

【清島委員長】

総合医療センターの評価結果原案について、何か意見はあるか。

(意見なし)

【清島委員長】

それでは原案のとおり決定してよいか。

(異議なし)

【清島委員長】

異議なしということで、原案のとおり決定した。

次に、多治見病院の評価結果原案について、何か意見はないか。

(意見なし)

【清島委員長】

それでは原案のとおり決定してよいか。

(異議なし)

【清島委員長】

異議なしということで、原案のとおり決定した。

次に、下呂温泉病院の評価結果原案について、何か意見はないか。

(意見なし)

【清島委員長】

それでは原案のとおり決定してよいか。

(異議なし)

【清島委員長】

異議なしということで、原案のとおり決定した。

この後、各法人には評価結果(案)を通知して、法人からの意見の申し出を受けるが、特に法人からの意見の申し出がなければ、案のとおり評価結果を決定する。法人から意見の申し出がある場合は、それによって評価結果(案)の修正が必要である場合には改めて委員の皆様の見解を伺うことになるが、その具体的な方法については委員長である私に一任いただくということでよろしいか。

(異議なし)

【清島委員長】

それでは、その後の対応については、事務局を通して改めて通知させていただくことにしたい。

【議題6：資料⑧】

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の中期目標終了時の検討について

資料⑧に従い事務局から説明

質疑応答

【清島委員長】

中期目標終了時の検討について、何か意見はあるか。

【富田委員】

独立行政法人化した効果は十分に発揮されており、引き続きこのままの形態で進められたら良いと思う。

【清島委員長】

その他にご意見・ご質問がなければ、中期目標における終了時の検討について、当委員会として意見書(案)のとおり知事に提出してよいか。

(異議なしの声)

【清島委員長】

異議なしということで、意見書(案)のとおり知事に提出することを決定した。

【議題7：資料⑨～⑪】

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の第2期中期目標(案)について

資料⑨～資料⑪に従い事務局から説明

質疑応答

【富田委員】

今年6月、「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が成立・公布され、今後、病床機能の報告や県において地域医療ビジョンが策定されることとなるが、このような中、中期目標を変更することもあり得るのか。

【木村係長】

第2期中期目標(案)は、現中期目標の達成状況や今後の医療を取り巻く環境の変化を見据えて策定しているが、今後の社会情勢等の変化により、必要があれば、変更することもあり得る。

【清島委員長】

他にご意見・ご質問がなければ、3病院の第2期中期目標(案)について、当委員会として意見書(案)のとおり知事に提出してよいか。

(異議なしの声)

【清島委員長】

異議なしということで、意見書(案)のとおり知事に提出することを決定した。

〔議題 8：資料⑫～⑬〕

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の第 2 期中期計画(骨子案)について

資料⑫～資料⑬に従い各理事長から説明

<岐阜県総合医療センターについて>

質疑応答

【富田委員】

重症心身障がい児は、何歳までを想定しているのか。

【滝谷理事長】

現時点では 18 歳までを想定している。

【富田委員】

PICU(小児集中治療室)の稼働状況は。

【滝谷理事長】

今年度から 4 床稼働している。第 2 期中期計画期間においては 6 床まで増床し、医療スタッフの育成等も行い、小児救命救急センターの設置を目指したい。

【富田委員】

診療情報のバックアップは、具体的にはどこの場所を検討されているのか。

【滝谷理事長】

現在、富士通の電子カルテを使用しており、富士通が群馬県にデータセンターを所有していることから、このような場所も含め検討していきたい。

【清島委員長】

手術室の運用の改善について、手術室の使用時間を延長することになれば、看護師等の医療スタッフの負担軽減対策も必要になると思うが如何か。

【滝谷理事長】

麻酔医や看護師等の医療スタッフの増員、また、病棟の体制整備などに取り組んでいきたいと考えている。

【富田委員】

日帰手術は、かなりあるのか。

【滝谷理事長】

白内障手術などは、日帰り手術で対応している。

<岐阜県立多治見病院について>

質疑応答

【富田委員】

近隣の医療機関との患者情報の共有については、BCP(業務継続計画)に基づく考え方なのか、病病連携に基づく考え方なのか。それとも両方なのか。

【原田理事長】

両方である。今後とも情報ネットワークを活用しながら、当院がリーダーシップをとって実施していきたい。

【富田委員】

ぜひ、病病連携の東濃モデルを構築していただきたい。

【富田委員】

過去にどのような水害があったのか。

【原田理事長】

施設の浸水、アクセス道路の冠水があった。

【富田委員】

現在の中央診療棟は、何年に整備されたのか。

【原田理事長】

昭和 56 年・59 年に整備した。

【富田委員】

耐震構造の施設にする計画なのか。

【原田理事長】

地震や水害に強い施設にしたいと考えている。

【清島委員長】

中央診療棟の整備は、既に決定している事項か。

【原田理事長】

現在、整備に向けて計画しているところである。

<岐阜県立下呂温泉病院について>

質疑応答

【富田委員】

地域包括ケア病床は、何床設置される予定か。

【山森理事長】

当面は38床を計画している。将来的には、急性期病床、地域包括ケア病床が各々半々になるかもしれない。

【富田委員】

飛騨南部地域は、病院・医師会が少ないため、医師会との連携が非常に大切になってくると思うがいかがか。

【山森理事長】

医師会とは頻繁に勉強会を開催し連携を図っている。また、今年7月、医師会等をメンバーとし、保健、介護、医療の連携において、認知症の予防・治療についての研究会を設置したところである。